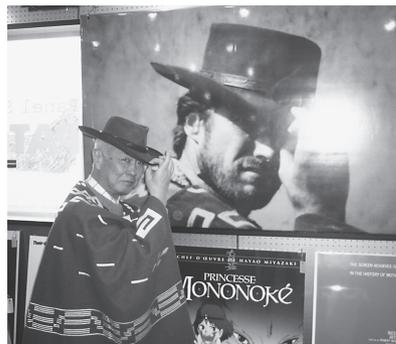


大切な思い出をパネルにしてみませんか？

パティオ



代表 植木秀実氏

柏崎市駅前 2-3-11 Tel・Fax 22-3277

数年ぶりの寒波襲来となった一月末、駅前通り交差点の角にある五階建てビルのパティオさんに伺った。代表の植木秀実氏が「どうぞ、どうぞ」と、気さくに出迎えて下さった。植木氏は昭和二十七年生まれの六十五才。生まれたのは現在の場所だが中学一年の時家族で横浜へ引越すことになり高校、大学は横浜で過ごす。大学時代はボクシングをしていてプロとしても二年間やっていたそうだ。今も大学のボクシング部OB会副会長をしている。柏崎に帰ってきたいと思っていた植木氏、「そういえば駅通りにレコード店が無い」と思い、勉強の為に約三年横浜のレコード店に勤める。

二十七才の時帰柏。現在の場所で営業を始める。市内数ヶ所に店舗をだしていたがインターネットの普及とともにレコードやCDの売り上げも減り、現在は不動産賃貸と昨年からは始めたパネル制作に力を入れている。

パネル制作はレコード店に勤めていた頃からやっていたそうだ。パネルにすることで大切な写真や絵が何十年でもキレイに保て、移動する時も傷をつける心配も無く楽だということ。なるほど二階のオフィスには西部劇の映画のパネルからディズニー映画のパネルまで所狭しと置かれている。

中学の頃から映画が大好きで、特に西部劇で有名なクリント・イーストウッドの大ファン。年に一回名古屋でマカロニウェスタンのファンが集まる会には毎年出席しているそうだ。

平成二十八年には、たまたまその中に旅行会社の人がいて「荒野の用心棒」や「夕陽のガンマン」のロケ地を巡る旅にスペインまで一週間行ってきたそうだ。「せっかくスペインまで行って名所旧跡には一つも行っていないですよ」と話し、新婚旅行でスペインに行き、名所旧跡にしか行ってないという随分の(忠)氏

に「スペインは良かったですか？」と聞いていました(笑)

三十一才の時に結婚した奥様は、五十才過ぎてからマラソンを始め、数々のマラソン大会で優勝し、東京マラソンにも出るというからスゴイ！そして何と、横浜の高校時代の同級生二人が柏崎に遊びに来たのをキッカケに一人が奥様のお姉さんと結婚し義兄になってしまい、もう一人は石地の方と結婚し二人共柏崎人になったそうです。

映画の話になると少年のように生き生きと話す植木氏。通販で買ったというクリント・イーストウッドのハットとボンチョを着ていただきパネルの前で写真をお願いしました。

「柏崎駅仲商店街振興組合の理事長もしているので、年配の人から若い人まで、こういう空間を楽しんでもらい駅通りが賑やかになればいい」と話す。取材が終わる帰ろうとした時、年配のお客様が来店され「もう何年もないから好きな事をしようと思って」ととパネルの注文をしていかれました。何かいいなあ…と思しながら植木さんの若さは自分の好きな事を仕事にしているからだろうなど感じ、懐かしいパネルにホッとさせられた取材となりました。

(編集委員(忠)取材)